

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

パーパス（ありたい姿）

世界を食でつなぎ、人々を健康に、そして笑顔にする

経常利益
60億円海外比率
40%乳製品取扱高
45万トン経常利益
60億円

② 中長期の経営戦略

1. 複合型食品企業への進化

乳製品専門商社から複合型食品企業へ転換し、成長分野の機能性食品原料部門やアジアのチーズ製造販売部門を拡大

3. アジア事業の拡大

2026年11月稼働予定のシンガポール新工場による生産能力強化と新製品・受託加工ビジネスの展開

2. 国内事業の成長強化

機能性食品原料部門や食肉食材部門など成長が期待される食品分野への取組み強化や新規商品開発で利益拡大を目指す

4. サプライチェーン強化

既存サプライヤー連携強化と新規サプライヤー開拓により、安定調達体制を構築し産地リスク低減

③ 対処すべき課題

① 乳製品原料の供給確保

- ・ 気候変動や環境規制で世界の産地の生乳生産増が期待できず、将来供給不足が懸念される
- ・ 顧客ニーズに合った原料を安定的に確保できる体制構築が最重要課題
- ・ 国産脱脂粉乳の在庫増加懸念により取扱商品・販路の多様化と高付加価値商品販売強化が必要

② 食肉部門の調達リスク管理

- ・ 海外市場の相場高や円安傾向による厳しい事業環境が継続する見込み
- ・ 家畜疾病による調達地域変更リスク低減と産地多様化が重要
- ・ 加工品の商品開発や取扱商品の幅拡大で利益率改善を目指す

③ シンガポール新工場の立ち上げ

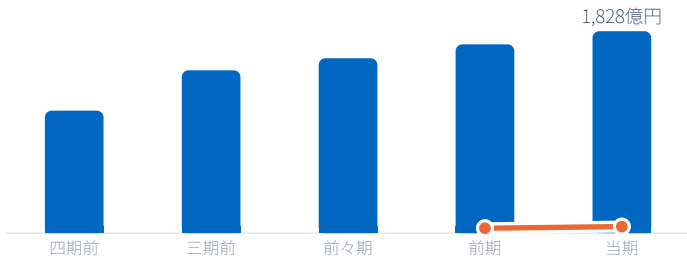
- ・ 2026年11月稼働開始に向けて旧工場から新工場への生産体制移管と各種認証取得が必須
- ・ 既存ビジネス維持しながら早期の商業生産開始とタイ工場のバックアップ体制確保が課題
- ・ 新製品製造・販売や受託加工ビジネスなど事業拡大の新展開を検討

面で使えるポイント

- ・ 2023年1月に新たな経営理念を公表し、パーパス・ミッション・バリューを社員とステークホルダーで共有する取組み
- ・ LACTO VISION 2032で乳製品取扱高45万トン、経常利益60億円、海外比率40%を目指す長期戦略
- ・ NEXT-LJ 2028で複合型食品企業への進化と2028年創業30周年以降の飛躍に向けた基盤づくりを推進

証券コード 3139

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
1,828億円営業利益率
3.3%財務健康度
36点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 61.7（当サイト算出の参考指標）

平均年収
982万円

卸売業内 26位/282社

平均年齢
37.0歳

卸売業内 273位/283社

平均勤続
8.0年

卸売業内 247位/282社

女性管理職
5.3%

卸売業内 129位/209社

男性育休
100.0%

卸売業内 19位/180社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

